

# 越中一宮

<https://www.takase.or.jp>

## 十月・十一月の祭事

- 月次祭（毎月一日・十三日／一月は十三日・九月は一日のみ）
- 村祭り（十月二日）
- 神嘗奉祝祭（十月十七日）
- 明治節祭（十一月三日）
- 神明宮例祭（十一月十三日）
- 七五三祝祭（十一月十五日）
- 新嘗祭（十一月二十三日）



撮影：プライダル事業部

## 月のうさぎと風車。

秋の境内には、月うさぎと風車を飾って  
皆様のお参りをお待ちしています。



## 「多様性」

宮司 藤井 秀嗣

最近、多様性ということばを頻繁に見聞します。ですので、神道という多様性について考えてみました。

日本人の宗教に関する意識は外国人のそれとはかなり相違があります。日本人の信仰や信心についてのアンケート結果によると、日本人の二五パーセントが信仰や信心をもっている。と回答し、あとの七五パーセントは無宗教だと回答しています。ほとんどの日本人が信仰を持っていない結果になっていますが、本当にそうでしょうか。

皆さんの自宅近くには神社があり、お寺も多くあると思います。そして、お正月には初詣に出かけ、お盆にはお墓参りに行きます。また、お葬式はお坊さんにお願います。神社の祭礼で御神輿を担いだり、クリスマスツリーを飾ってお祝いしたり、このようなことを抵抗なくやっているのが私たち日本人なのです。外国人からすると、とても

信心深い国民に見えることでしょうか。このことは逆に、信仰や信心が曖昧といわれる場合もありますが、決してそうではありません。日本人の暮らしぶりには宗教的要素がふんだんに存在していて、それを無意識ともいう感覚で実践しているのです。

では、このような宗教的寛容ともいえるペースはどこにあるのでしょうか。仏教伝来以前の日本人は、身の回りのあらゆるところ（山川草木・森羅万象）に神の存在を感じて、ことある度に神に祈りを捧げ、成就の暁には感謝を捧げるという生活を営んできました。自然の中にいくつもの祈りの場ができ、やがてそこに社殿が建てられ、神社となり、祭りが行われて、神々との共存が生活のベースとなりました。

様々な願い事をそれぞれの役割を担う神様に祈ることによって不安を軽減し、未来へ希望をたぐうことができます。また、それ

ぞれの神様が鎮座される杜や神々が宿るといわれる山々を大切にすることで、そこに関わる動植物なども守られることになり、自然環境の保護にもなります。さらには多種多様の信仰を持つ人たちに参拝してもらうことで共存共栄が可能となります。

私たちがご先祖は多様な神様を崇める（宗教的多様性）ということが諸々を円満に運ぶための英知であると承知していました。

私たちは一人で日々の暮らしを生きている訳ではありません。何事も直接的、間接的に様々なご縁に結ばれた多くの人々のお世話になって生かされています。話になつて生かされているのです。それは目に見える人々だけのことと思いがちですが、より大切なのは、目に見えない多くの神々や今に至る生命を繋いでいただいた、たくさんのご先祖の導きがあったからこそ、ありがたく感じるようなのです。

多様な神々、多くのご先祖や人々に感謝の思いが及べば、日々の暮らしが心楽しい心豊かなものになることでしょう。

## 高瀬稲荷社例祭齋行

連日の晴天に空梅雨の声も聞かれた六月三十日、末社「高瀬稲荷社」の例祭並びに商売繁盛祈願祭を齋行しました。感染症の影響が続く中、講員の皆様は事業の繁栄と業務の安全を祈って、初夏の木漏れ日の中、力強く拍手の音を響かせてお参りされました。大神様のご加護がありますように。





## 例祭齋行

秋空の高く澄み渡る九月十三日、大神様のご神恩に感謝する、ひととせに一度の例祭を齋行しました。

昨年に続き、感染症拡大防止の観点から、ご参列人数の調整を行い、関係各位のご理解とあたたかいご協力をいただいた際の齋行と

なった本祭典。神社本庁よりの「幣帛」を奉り、宮司以下神職・巫女、そしてご参列を賜りました石岡敬夫・藤井秀之両責任役員、また岩倉保男高瀬区长他の皆様は、高瀬の大神様への感謝と、今後益々の地域、更には国家の繁栄と国民の慶福を祈り、大前に赤誠を捧げました。

また神賑行事には、今年も井波地域を中心に広く活躍する、女声コーラスグループ「ソット・ヴォーチェ」会員の皆様による「越中一宮高瀬神社奉賛歌」が、歌声も高らかに奉唱されました。

この奉賛歌は、高瀬の大神様をお讃えするべく、作詞芳賀矢一氏、作曲本居長世氏により創作、大正十二年に初めて奉唱された由緒ある楽曲です。



ソット・ヴォーチェの皆様による奉賛歌の奉唱



井波松風会の皆様による吟詠奉納

## 戦後七十七年目の功霊殿例祭

### 功霊殿例祭

御本殿に寄り添うように鎮座する「功霊殿」は、砺波地域から出征された英霊と、当地方開拓の功労者あわせて六、四〇〇余柱をお祀しており、この日も御本殿に引き続き祭祀を厳修しました。

今年の「井波松風会」の皆様は、乃木希典作「神州」と本宮三香作「九段の桜」の二曲。どんな時代であつても、英霊への感謝の心は必ず後世に語り継がなければならぬのです。

## 夏越大祓

### あわせて茅の輪神事齋行

毎年六月と十二月の晦日に行われる「大祓」は、私達が日常生活の中で知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを祓い清める神事です。

この日ご参列の皆様は、各々「人形」に罪穢れを移し大麻、切麻にて祓いを受けると、神職の先導によって茅の輪をくぐり、次の半年間に臨む為の清らかな心身に立ち返りました。また、全国の崇敬者の皆様から届けられた人形も心を込めて祓い清め、無事、恒例の神事をご奉仕しました。



# 七夕祭並びに 技芸上達祈願祭

願いごと、天まで届け。

今年で四回目を数える新しい夏の風物詩「夏詣」最終日の七月七日、ご参拝の皆様が掲げたたくさんのお願いごと短冊を祓い成就を願う「七夕祭」を斎行しました。

祭典では金沢市の岩田典子さんにより「三味琴」の演奏が奉納され、ご参列の方々、また職場体験学習「十四歳の挑戦」に参加中の福野中学校生徒の皆様も、ひととき、静寂の中に響く涼やかな音色に心を奪われました。



参拝者駐車場

## 歩行者通路整備工事竣工

七月十日、当神社参拝者駐車場横の石碑移設に併せて行われていた、駐車場から神社正面への歩道に直結する、歩行者通路の整備工事が竣工しました。

これにより駐車場から境内への移動距離が短縮、また手摺の設置、通路確保の為に路面標示塗装などにより、参拝者の皆様の安全性も向上しました。



祝祭日には国旗を掲げましょう

またその夕刻には氏子の練り回す「熱送り太鼓」が巡行。雨上がりの田畑に豊作を祈る打音を轟かせました。



## 熱送り太鼓巡行

鎮守の杜も夏の俄雨にほっと息をつく「大暑」の七月二十三日、農作物の順調な生育と無事の収穫をご神前に祈念する「除熱祭」を斎行しました。



勇壮な打音が田園風景に響く

## 安産祈願 戌の日カレンダー

令和4年	10月	12日・24日	令和5年	1月	4日・16日・28日
	11月	5日・17日・29日		2月	9日・21日
	12月	11日・23日		3月	5日・17日・29日

腹帯のお祝いも行いますので、どうぞご持参下さい。

## 社報バックナンバーのご案内

当神社のホームページにてバックナンバーをご覧いただけます。祭典の由緒や行事の沿革など、過去の記事もご参考になさって下さい。 <https://www.takase.or.jp>





牛島 辰馬

松本 昌子

飛騨山静恵

笹波 美恵

安達 陽子

川原 るみ

中林 雅代

熊野 幸子



## 人形感謝祭齋行

今日までありがとう。

七月十七日、長い時を共に過ごした人形に感謝を伝え、祓いの後にお焚き上げをする「人形感謝祭」を齋行しました。

祭典の受付では、大切な人形を持ち寄られた皆様、最後のお別れをして、感謝の言葉を「人形」に綴り、別れを惜しみながらひとつひとつ丁寧に置き飾りました。

「人形感謝祭」は、毎年七月にご奉仕しています。



## 第三十二回

# 人形展し一期一会

県内外で幅広く活躍する人形作家と、草月流富山県支部秀抱会とが織りなす、創作人形といけばなの展覧会が、本年も華やかに開催されました。

期間中、ご来場の皆様には感染防止対策へのご協力をいただき、盛況のうちに無事、会期を終えることが出来ました。



南部 祥雲

中嶋外志男

千代泊

笹川むもん

開催期間 七月十六日～十八日  
 会場 高瀬神社参集殿  
 総合監修 梅崎親美  
 銘木材 嶋田工芸  
 写真 荒井恒雄  
 生け花 草月流秀抱会



辻 和志

床 サユリ

中山朱津子





シリーズ

大国さまの

牛嶽社めぐり

第五回 山田牧牛嶽社

山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する国民の祝日「山の日」。今年は八月十一日が「山の日」でした。

日本の国土の六割七割が山地であり、日本人は山などの自然に畏敬の念を抱きつつ、その恵みに感謝しながら生活してきました。

ご承知の通り富山県を代表する県の山は「立山」ですが、その立山と同じように「牛嶽」も原始的自然信仰の山、「神体山」として越中国の人々に崇められ、親しまれてきました。

今回紹介します牧の「牛嶽社」は、富山市山田牧に鎮座する神社です。現在の富山市山田(旧山田村内)には、牛嶽社や牛嶽神社など十六社ありましたが、その後の廃村

により「鍋谷」「居舟」「赤目谷」「湯」「小島」「白井谷」「沼又」「牧」「今山田」「宿坊」の十社となりました。牧の牛嶽社もその内の一社です。

勸請された年月は不詳ですが、古来より牧の産土社として鎮座され、大正四年に社殿を改築した記録が残されています。現在、春祭は四月十四日、秋祭が九月二十五日に行われています。



そびえ立つ石の鳥居と社殿

神社名	牛嶽社
鎮座地	富山市山田牧
御祭神	大名持命
宮司	近尾昌幸
境内地	七七三坪



七五三詣のご案内

お子様の健やかなご成長を祈って  
かわいいお子様の成長を祝い、ご家族おそろいでお参り下さい。

期間 10月1日(土)~11月30日(水)  
受付時間 午前9時~午後4時30分まで  
ご祈祷料 お1人につき5,000円より

7歳(女兒) 平成28年生まれ  
5歳(男児) 平成30年生まれ  
3歳(男女) 令和2年生まれ (数え年)

令和五年 初詣献灯のご案内

高瀬神社では、初詣期間の正参道を飾る提灯の奉納をご案内しています。大神様の更なるご加護と、来たる新年が尚一層輝かしい一年となりますよう祈りを捧げ、奉納願います。

※記載芳名

例(約八文字)

- 一、献灯期間 正月七日まで
- 一、献灯料 一基一万円
- 一、申込期限 十一月三十日
- 一、お申込みの方の案内安全・商売繁盛他の祈願祭をご奉仕致します。

二、個人

高瀬 高瀬太郎  
高瀬 太郎

南砺市(株)高瀬  
高瀬産業株式会社





## 大国さまの処方せん ⑥

「骨粗鬆症の加療のすすめ」

南砺市民病院 整形外科部長 湯淺 泰廣

私が三十余年前、研修医であった頃には整形外科の諸先輩方にはよく「高齢者の腰痛は骨粗鬆症を疑え」、「高齢者の骨折は骨粗鬆症を疑え」などと御指導をいただいたものです。外来で「怪我もしてないのに二週間以上も腰痛がよくならない」や「何もした覚えがないのにごんごん腰が痛くなってきた」と言われる患者さんがおられますが、これらも七十歳以上であれば、骨粗鬆症を基板とした軽微な外傷による圧迫骨折（脆弱性骨折）となっていることがほとんどと言ってよいかもしれませんが、また脆弱性骨折の一つで、手術加療が必要となる大腿骨近位部骨折も高齢化と共に年々増加傾向にあります。当院でも手術年齢が平均九十歳となるなど、超高齢者でも手術が必要となる時代へとす

でに突入しています。ちょっとしたことで骨折したり、手術を行わないで済むようにするためには骨粗鬆症の予防と治療が非常に大切であるといえるでしょう。骨粗鬆症は簡単に説明すると皮膚が垢となって落ちていくのと同様に骨自体も毎日作られ、壊されてを繰り返して強度を保っています。閉経した高齢女性の骨粗鬆症はこのサイクルが女性ホルモンの減退によって亢進し、骨が壊される量が相対的に多くなって骨が弱くなっていくタイプの骨粗鬆症が多く認められます。骨粗鬆症自体は骨がもろくなっていくだけでなく、骨折や変形を来さない限りは無症状です。整形外科にも検診結果で骨粗鬆症の精査を指示されて受診されるかたもおられますが、腰痛や骨折を受傷し

て初めて検査を行い骨粗鬆症の治療を受ける場合が殆どです。現在は検査も治療も様々な進歩を遂げています。高価な保険のきかない健康食品やサプリメントなどを購入する前に、医療機関でしっかりと検査を受けて、自分に合った様々な治療方法を病院では保険適応で受けられます。現在は無症状であっても今後骨折を起こして痛い思いをしないためには慢性腰痛があったり、閉経後十年以上経過した方は骨折予防の為、早期からの骨粗鬆症の予防と治療開始をお勧めします。

### 湯淺 泰廣 先生

南砺市民病院 整形外科部長  
石川県小松市出身。半生は富山県在住。  
金沢医科大学卒。医学博士。整形外科専門医。指導医。

医薬医療の神として知られる大国主大神（大国さま）のご神徳にちなんだこのコラムは、毎回、専門家の方に寄稿いただき、読者の皆様の生活に役立つ医療知識などを発信いたします。

## 大輪あさがお展

— 花言葉は「結束」 —

真夏の境内に、毎年可愛らしく彩りを添える「大輪あさがお展」が、八月五日から八日にかけて開催されました。

この展示会を主催する南砺あさがお会（森田光正会長）会員の皆様は、強い結束のもと熱中症対策も万全に、訪れる方々を丁寧なご案内と笑顔でお迎えしておられました。一年でいちばん暑い真夏の境内に、今年もひとときのオアシスをありがとうございました。



## 令和5年 厄年・身祝一覧

〔厄年〕 数え年	前 厄		本 厄		後 厄	
	年齢	年次	年齢	年次	年齢	年次
男	24歳	平成12年(辰)	25歳	平成11年(卯)	26歳	平成10年(寅)
	41歳	昭和58年(亥)	42歳	昭和57年(戌)	43歳	昭和56年(酉)
	60歳	昭和39年(辰)	61歳	昭和38年(卯)	62歳	昭和37年(寅)
女	18歳	平成18年(戌)	19歳	平成17年(酉)	20歳	平成16年(申)
	32歳	平成4年(申)	33歳	平成3年(未)	34歳	平成2年(午)
	36歳	昭和63年(辰)	37歳	昭和62年(卯)	38歳	昭和61年(寅)

〔身祝〕 数え年	年齢	生まれ年
	還暦	61歳
古希	70歳	昭和29年(午)
喜寿	77歳	昭和22年(亥)
傘寿	80歳	昭和19年(申)
米寿	88歳	昭和11年(子)
卒寿	90歳	昭和9年(戌)
白寿	99歳	大正14年(丑)

※数え年とは、満年齢に誕生日前には2歳、誕生日後には1歳を加えた年齢です。  
\*…この年を厄とする地域もあります。

※男女ともに祝います。

「一年の計は元日にあり」。高瀬神社は、福の神として広く崇敬をあつめる大國主大神（大國さま）をお祀りしています。来る新年が輝かしき年、実りの多い一年となりますよう、心を込めて「新年初祈禱」をご奉仕いたします。



御幣串はお持ち帰りいただき、ご家庭でお祀り下さい

## 令和五年 新年初祈禱のご案内



**期間** 元日より節分の頃迄にご参拝下さい  
**受付** 午前九時から  
 午後四時三〇分迄  
 ※元日は午前零時から  
 午後六時頃迄  
**ご祈禱料**  
 一件につき五〇〇〇円より

◎特設祈禱受付入口よりお進み下さい。

状況により、ご昇殿人数の制限など、感染症対策へのご協力をお願いする場合がございます。

## 【辞令】

巫女見習 源 結羽

巫女を命ずる

令和四年七月一日

## ご奉納御礼

【三味琴演奏】

七月七日 七夕祭にて奉奏

岩田 典子殿



【大國様陶彫】

南部 祥雲殿



【津軽三味線演奏】

七月二日奉奏

佐々木重吉殿

以上の皆様よりご奉納を賜りました。誌上より厚く御礼申し上げます。

## 表紙写真

境内を飾る「月うさぎ」。ひとつひとつ違う表情で、月の満ち欠けを表現しています。

【椿苗木（越天楽・太神楽）】

安原 信義殿

【同 植樹奉仕】

高田 栄一殿  
吉田 清殿



越天楽

今般、安原信義氏には「越天楽」・「太神楽」という、神社の境内に相応しい品種の椿をご奉納いただきました。



夏の風鈴、三月の吊るし雛など、高瀬神社では季節ごとに、その風物詩とも言える飾り細工をご参拝の皆様にお楽しみいただいています。

## 杜のにぎわい

秋は風車と、仲秋の名月をモチーフに手づくりした「月うさぎ」の吊るし飾りです。秋風にとよぐ月の満ち欠けと、風車の共演をお楽しみ下さい。



## 今市子展、閉幕。



©今市子「百鬼夜行抄」(朝日新聞出版刊)

七月一日から十日にかけて、当社にて開催された「今市子展」は、五〇〇名以上のご来館をいただき、盛況のうちに会期を終えることが出来ました。会場に足をお運びいただいた皆様へ、厚く御礼を申し上げます。

## 編集後記

ふるさととは遠きにありて思ふもの。金沢市出身の詩人室生犀星の詩の冒頭である。この詩が望郷

の思いを吐露したものでないことを、迂闊にも最近知った。そしてこの夏、帰郷出来なかった人も、迎えられなかった人もまた、今が我慢のしどころなのかもしれない。

(智)



## 結びの杜の神前式

縁結びの神様、大国主大神をお祭りする越中一宮。

日常を隔てる境内で、玉砂利を踏みしめて歩く参進の儀に始まり、社殿に響き渡る雅楽の調べの中、厳かな神前式が執り行われます。

大国様の「結び」の御神徳によりお二人だけではなく、両家の絆も固く結ばれます。



四季折々の境内でロケーションフォトを満喫



一日一組限定のおもてなし

完全なプライベート空間で和やかな宴会が実現すべしは一組の新たな夫婦の幸福のために



オープンエアなプライベートテラスで開放的な演出が実現



結婚式をあきらめないでください

二人だけでも結婚式はできます。  
 「だったら、家族は欠かせないかな。」  
 「折角だから、親戚のみなさんだけでも。」  
 「できれば、近くに住む友人くらいは...」  
 列席を減らすのではなく、無理なく増やす。  
 そんな考え方で結婚式を叶えてみませんか。  
 挙式のみより少人数会食、  
 高瀬神社は結婚されるすべての方を歓迎しています。

あなたの人生に、神社がある。

越中一宮高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291  
 ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社 🔍 検索



高瀬神社LINE



高瀬神社HP